

みずほマーケット・トピック(2016年9月30日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。本日発行の『中期為替相場見通し』をご参照下さい。

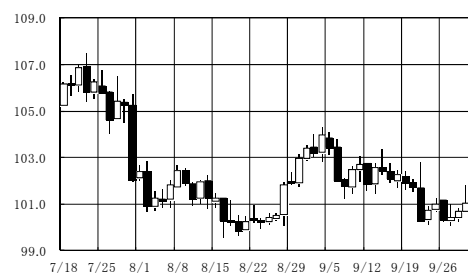
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」,「今週の為替相場見通し」)

- ・今週のドル/円相場は週後半にかけて上昇する展開。週初26日、100円台後半でオープンしたドル/円相場は、週末にメルケル独首相が独最大手銀行の支援要請を見送る決定との一部報道を受けてリスク回避姿勢が強まり、金融株を中心に NY ダウ平均も軟調推移する中、100円台前半まで下落。翌27日は、米大統領選候補者の第一回テレビ討論会が実施され、民主党のヒラリー・クリントン氏が優勢だったとの見方を受けた日経平均株価の下げ幅縮小もあり、ドル/円は100円台後半まで連れ高となった。しかし、独大手自動車会社の罰金問題などを背景にリスク回避姿勢が強まると100円台前半までじりじりと下落した。28日は、原油価格や欧州株価が堅調に推移する中、OPEC 会合での減産合意が関係筋から伝わると、原油価格が上昇し、NY ダウ平均も上昇する展開にドル/円は100円後半まで上昇。29日にかけても前日の流れを引き継ぎ、ドル/円は101円台前半まで値を上げた。その後、米4~6月期GDP(3次速報)の結果を好感すると、ドル/円は一時週高値となる101.84円まで上昇するも、独最大手銀行を巡る懸念が燦燦の中、リスク回避の円買い地合いに再び101円を割り込んだ。本日にかけては101円挟みで方向感なく推移している。
- ・今週のユーロ相場は揉み合う展開。週初26日、1.12台前半でオープンしたユーロ/ドルは、独9月IFO企業景況感指数の市場予想を上回る結果を好感するとユーロ買いが強まり、一時週高値となる1.1280まで上昇。しかし27日には、前日にメルケル独首相が独最大手銀行の支援要請を拒絶したとの一部報道を受けリスク回避姿勢が強まる中、ユーロ/ドルは一時1.11台後半まで下落した。28日、ユーロ/ドルは一時週安値となる1.1182をつけるも、欧州株価の堅調推移を受けて1.12台前半まで上昇。その後、イエレンFRB議長のタカ派な発言を受けてドル買いが強まるとユーロ/ドルは1.11台後半まで反落したが、すぐに1.12台前半に値を戻した。29日は、米4~6月期GDP(3次速報)の結果を好感したドル買いに、ユーロ/ドルは1.12割れまで弱含む場面が見られるも、この水準ではユーロ買い意欲も強く、1.12台前半まで反発。本日も独最大手銀行の経営不安が燦燦の中で、ユーロ/ドルは1.12台前半で上値重い推移が継続している。

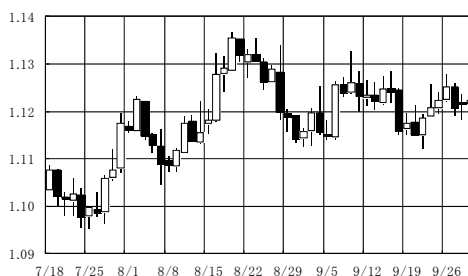
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		9/23(Fri)	9/26(Mon)	9/27(Tue)	9/28(Wed)	9/29(Thu)
ドル/円	東京9:00	100.84	100.92	100.38	100.49	100.96
	High	101.25	101.17	100.99	100.82	101.84
	Low	100.68	100.25	100.09	100.26	100.65
	NY 17:00	101.01	100.34	100.43	100.70	101.04
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1208	1.1239	1.1249	1.1217	1.1224
	High	1.1240	1.1280	1.1259	1.1237	1.1250
	Low	1.1193	1.1222	1.1191	1.1182	1.1197
	NY 17:00	1.1224	1.1253	1.1209	1.1217	1.1224
ユーロ/円	東京9:00	113.00	113.42	112.94	112.71	113.31
	High	113.62	113.52	113.58	113.07	114.18
	Low	112.90	112.82	112.25	112.48	112.90
	NY 17:00	113.41	112.86	112.64	112.95	113.43
日経平均株価		16,754.02	16,544.56	16,683.93	16,465.40	16,693.71
TOPIX		1,349.56	1,335.84	1,349.22	1,330.77	1,343.25
NYダウ工業株30種平均		18,261.45	18,094.83	18,228.30	18,339.24	18,143.45
NASDAQ		5,305.75	5,257.49	5,305.71	5,318.55	5,269.15
日本10年債		-0.05%	-0.06%	-0.07%	-0.09%	-0.08%
米国10年債		1.62%	1.58%	1.56%	1.57%	1.56%
原油価格(WTI)		44.48	45.93	44.67	47.05	47.83
金(NY)		1,341.70	1,344.10	1,330.40	1,323.70	1,326.00

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・ 米国では、7 日(金)に 9 月雇用統計が発表される。前回 8 月雇用統計では、非農業部門雇用者数が前月比+15.1 万人と 7 月(同+27.5 万人)から大幅に縮小し、平均時給も前月比+0.1%と市場予想(同+0.2%)を下回る結果となった。9 月については、調査週に当たる 9 月第 3 週(12 日を含む週)の新規失業保険申請数が、趨勢を示す 4 週移動平均で 25.9 万人と 8 月(26.5 万人)から減少している。そうした計数も踏まえ、市場では 9 月非農業部門雇用者数が前月比+17.5 万人と 8 月から拡大し、堅調な結果になると予想されている。このほか、3 日(月)に 9 月 ISM 製造業景気指数、5 日(水)に 9 月 ADP 雇用統計、9 月 ISM 非製造業景気指数、8 月貿易収支の発表が予定されている。
- ・ 本邦では、3 日(月)に日銀短観 9 月調査が発表される。大企業・製造業の業況判断 DI は+8%ポイント(6 月調査:+6%ポイント)、大企業・非製造業の業況判断 DI は+20%ポイント(6 月調査:+19%ポイント)と、それぞれ小幅な改善が予測される(みずほ総合研究所による予測)。大企業・製造業では、英国の EU 離脱(Brexit)問題を背景に懸念された世界経済・金融市場の混乱が避けられたことや、新型スマートフォンの発売による受注増で、輸送機械器具業や情報通信機械器具業などの景況感が改善したと見られる。大企業・非製造業では、熊本地震による宿泊者数の落ち込みが底入れし、宿泊・飲食サービス業などで景況感が改善したと考えられる。また、2015 年度補正予算に計上された公共事業の進展を受けて、建設業の業況も改善するだろう。業況判断以外では、大企業・製造業による 2016 年度の想定為替レートが、6 月調査の 111.41 円から、足許の円高を背景にどこまで引き下がるかに注目が集まる。このほか、4 日(火)に日銀短観 9 月調査の「企業物価見通し」、9 月消費者態度指数、7 日(金)に 8 月景気動向指数(速報)の発表が予定されている。
- ・ 欧州では、6 日(木)に ECB 議事要旨(9 月 8 日開催分)が公表される。9 月の ECB 理事会では金融政策の現状維持が決定されたが、多くの市場参加者が予想していた拡大資産購入プログラム(APP)のパラメータ修正は決定されなかった。もっとも、声明文では「理事会は購入プログラムの円滑な実施を確実にものにするための選択肢を評価するように関連委員会へ指示した」との記述が見られている。そのため、今後は ECB 内部の委員会における準備を経て、APP の各種パラメータ(33%ルール、購入可能下限金利等)がより緩やかな方向に修正される可能性が高い。今回の議事要旨では各種パラメータの修正に関して、理事会の内部で具体的な議論があったかどうか注目が集まる。このほか、経済指標では 5 日(水)にユーロ圏 8 月小売売上高、7 日(金)に独 8 月鉱工業生産指数、仏 8 月鉱工業生産指数、英 8 月鉱工業生産指数が発表される。

	本 邦	海 外
9 月 30 日(金)	—————	・米 8 月個人所得・消費 ・米 8 月 PCE コアデフレーター ・米 9 月ミシガン大学消費者マインド(確報) ・米 9 月シカゴ購買部協会景気指数 ・ユーロ圏 9 月消費者物価(速報) ・ユーロ圏 8 月失業率
10 月 3 日(月)	・日銀短観(9 月調査) ・9 月自動車販売台数	・米 8 月建設支出 ・米 9 月 ISM 製造業景気指数
4 日(火)	・9 月マネタリーベース	—————
5 日(水)	—————	・米 9 月 ADP 雇用統計 ・米 8 月貿易収支 ・米 9 月 ISM 非製造業景気指数 ・米 8 月製造業新規受注 ・米 8 月耐久財受注(確報)
6 日(木)	—————	・独 8 月製造業受注 ・G20 財務大臣・中央銀行総裁会議(ワシントン D.C)
7 日(金)	・8 月景気動向指数(速報) ・8 月毎月勤労統計	・米 9 月雇用統計 ・米 8 月卸売売上高 ・米 8 月消費者信用残高 ・独 8 月鉱工業生産 ・IMF 世銀・年次総会(～9 日、ワシントン D.C)

【当面の主要行事日程(2016 年 10 月～)】

G20 財務相・中央銀行総裁会議(10 月 6 日、ワシントン D.C.)
 ユーロ圏財務相理事会・EU 経済・財務相理事会(10 月 10～11 日、ルクセンブルク)
 ECB 理事会(10 月 20 日、12 月 8 日、2017 年 1 月 19 日)
 日銀金融政策決定会合(10 月 31～11 月 1 日、12 月 19～20 日、2017 年 1 月 30～31 日)
 米 FOMC(11 月 1～2 日、12 月 13～14 日、2017 年 1 月 31～2 月 1 日)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔 (TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー(2016年10月)

月	火	水	木	金	週末
3 日本 日銀短観(9月調査) 日本 自動車販売台数(9月) 米国 建設支出(8月) 米国 ISM製造業景況指数(9月)	4 日本 マネタリーベース(9月)	5 米国 ADP雇用統計(9月) 米国 貿易収支(8月) 米国 ISM非製造業景況指数(9月) 米国 製造業新規受注(8月) 米国 耐久財受注(確報、8月)	6 ドイツ 製造業受注(8月) G20財務大臣・中央銀行総裁会議(ワシントンD.C.)	7 日本 景気動向指数(速報、8月) 日本 毎月勤労統計(8月) 米国 雇用統計(9月) 米国 卸売売上高(確報、8月) 米国 消費者信用残高(8月) ドイツ 鉱工業生産(8月) IMF世銀・年次総会(～9日、ワシントンD.C.)	
10 日本 体育の日 ユーロ圏 財務相会合(ルクセンブルク) ドイツ 貿易収支(8月)	11 日本 景気ウォッチャー調査(9月) 日本 企業倒産件数(9月) 米国 労働市場情勢指数(9月) ユーロ圏 EU経済・財務相理事会(ルクセンブルク) ドイツ ZEW景況指数(10月)	12 日本 機械受注(8月) 日本 国際収支(8月) 米国 FOMC議事要旨(9月20～21日開催分) ユーロ圏 鉱工業生産(8月)	13 日本 貸出・預金動向(9月) 日本 第三次産業活動指数(8月)	14 日本 マネーストック(9月) 日本 国内企業物価(9月) 米国 小売売上高(9月) 米国 生産者物価(9月) 米国 企業在庫(8月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、10月) 米国 *財政収支(9月) ユーロ圏 貿易収支(8月)	
17 日本 鉱工業生産(確報、8月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景況指数(10月) 米国 鉱工業生産(速報、9月) ユーロ圏 消費者物価(確報、9月)	18 米国 消費者物価(9月) 米国 米TICLレポート(対内対外証券投資、8月)	19 米国 住宅着工(9月) 米国 ページュブック	20 米国 中古住宅販売(9月) 米国 景気先行指数(9月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景況指数(10月) ユーロ圏 経常収支(8月) ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト) ユーロ圏 EU首脳会議(～21日、ブリュッセル)	21	
24 日本 貿易収支(9月) 日本 景気動向指数(確報、8月) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI(10月)	25 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(8月) 米国 消費者信頼感指数(10月) ドイツ IFO企業景況指数(10月)	26 日本 企業向けサービス価格(9月) 米国 新築住宅販売(9月)	27 米国 耐久財受注(速報、9月)	28 日本 労働力調査(9月) 日本 全国消費者物価(9月) 日本 東京都都区消費者物価(10月) 日本 家計調査(9月) 米国 雇用コスト(7～9月期) 米国 GDP(1次速報、7～9月期) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、10月)	
31 日本 日銀金融政策決定会合(～11月1日) 日本 鉱工業生産(速報、9月) 日本 商業販売統計(9月) 日本 住宅着工(9月) 米国 個人所得・消費(9月) 米国 シカゴ購買部協会景況指数(10月) ユーロ圏 GDP(速報値、7～9月期)					

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー(2016年11月)

月		火	水	木	金	週末
		1 日本 金融政策決定会合・展望(基本的見解) 日本 自動車販売台数(10月) 米国 FOMC(～2日) 米国 ISM製造業景気指数(10月) 米国 建設支出(9月)	2 日本 マネタリーベース(10月) 米国 ADP雇用統計(10月)	3 日本 文化の日 米国 労働生産性(速報、7～9月期) 米国 ISM非製造業景気指数(10月) 米国 製造業新規受注(9月) 米国 耐久財受注(確報、9月) ユーロ圏 失業率(9月)	4 米国 雇用統計(10月) 米国 貿易収支(9月)	
7	日本 金融政策決定会合議事要旨(9月20～21日開催分) 日本 毎月勤労統計(9月) 米国 労働市場情勢指数(10月) 米国 消費者信用残高(9月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル) ドイツ 製造業受注(9月)	8 日本 景気動向指数(速報、9月) 日本 *企業倒産件数(10月) 米国 大統領選挙、議会選挙 ユーロ圏 EU経済・財務相理事会(ブリュッセル) ドイツ 鉱工業生産(9月) ドイツ 貿易収支(9月)	9 日本 国際収支(9月) 日本 貸出・預金動向(10月) 日本 景気ウォッチャー調査(10月) 米国 卸売売上高(9月) 米国 卸売在庫(確報、9月)	10 日本 金融政策決定会合による主な意見(10月31～11月1日開催分) 日本 機械受注(9月) 日本 マネーストック(10月) 米国 財政収支(10月)	11 日本 第三次産業活動指数(9月) 日本 国内企業物価(10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、11月)	
14	日本 GDP(1次速報、7～9月期) 日本 鉱工業生産(確報、9月) ユーロ圏 鉱工業生産(速報、9月)	15 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(11月) 米国 小売売上高(10月) 米国 企業在庫(9月) ユーロ圏 貿易収支(9月) ユーロ圏 GDP(速報、7～9月期) ドイツ ZEW景況指数(11月) ドイツ GDP(速報、7～9月期)	16 米国 生産者物価(10月) 米国 鉱工業生産(10月) 米国 TICレポート(対内対外証券投資、9月)	17 米国 住宅着工(10月) 米国 消費者物価(10月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(11月) ユーロ圏 消費者物価(確報、10月)	18 米国 景気先行指数(10月) ユーロ圏 経常収支(9月)	
21	日本 貿易収支(10月)	22 米国 中古住宅販売(10月)	23 日本 勤労感謝の日 米国 耐久財受注(速報、10月) 米国 新築住宅販売(10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、11月) 米国 FOMC議事要旨(11月1～2日開催分) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI	24 日本 景気動向指数(確報、9月) ドイツ GDP(確報、7～9月期) ドイツ IFO企業景況指数(11月)	25 日本 全国消費者物価(10月) 日本 東京都都区消費者物価(11月) 日本 企業向けサービス価格(10月) 米国 卸売在庫(速報、10月)	
28		29 日本 労働力調査(10月) 日本 家計調査(10月) 日本 商業販売統計(10月) 米国 GDP(2次速報、7～9月期) 米国 S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格(9月) 米国 消費者信頼感指数(11月)	30 日本 鉱工業生産(速報、10月) 日本 新設住宅着工(10月) 米国 ADP雇用統計(11月) 米国 個人消費・所得(10月) 米国 POEコアデフレーター(10月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(11月) ユーロ圏 消費者物価(速報、11月)			

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuho-bank.co.jp/forex/esgn.html>

発行年月日	過去6か月のタイトル
2016年9月27日	ユーロ圏の与信、物価、為替に関する状況整理
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年8月分)
2016年9月26日	ハードルが上がった日銀の追加緩和
2016年9月23日	週末版(日米金融政策決定会合を終えて～確度が強まる円高見通し～)
2016年9月20日	米大統領選挙と為替相場に対する考え方について
2016年9月16日	週末版(「日銀相場」の活かし方～断ち切られた株と為替のリンク～)
2016年9月15日	G4通貨の調整状況～懸念されるドル安不足～
2016年9月14日	日銀会合プレビュー～「量との決別。金利への転進」～
2016年9月13日	ブレインード講演を終えて～ハト派の矜持～
2016年9月12日	米利上げに怯える株式市場～「ドル高の罠」再び～
2016年9月9日	週末版(ECB理事会を終えて～注目はパラメーター修正の「次の論点」へ～)
2016年9月8日	円相場の基礎的需給環境～2016年7月～
2016年9月6日	ECB理事会プレビュー～「お茶を濁す」方法～
2016年9月5日	足許の円安の本質～「4か月前の円安」と同質～
2016年9月2日	週末版
2016年8月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年7月分)
2016年8月29日	イエレン議長講演を受けて～「短期は強気、長期は弱気」～
2016年8月26日	週末版(ドル高相場の読み方、考え方～何を、どう見ておくべきか～)
2016年8月24日	最近のユーロ相場の状況について
2016年8月23日	黒田日銀総裁インタビューを受けて
2016年8月22日	ECB理事会議事要旨(7月20～21日開催分)
2016年8月19日	週末版(円安・円高の正しい評価とは～交易条件、実質所得、ISバランスなどの観点から～)
2016年8月18日	FOMC議事要旨(7月26～27日開催分)～自信喪失?～
2016年8月17日	「円買い」ではなく「ドル売り」に主導された円高
2016年8月16日	リスクナリオとしての世界経済の底打ち機運
2016年8月15日	本邦4～6月期GDP～実質所得環境は改善中～
2016年8月12日	週末版(人民元ショックから1年～『国際金融のトリレンマ』に照らしたおさらい)
2016年8月10日	円相場の基礎的需給環境～2016年上半期～
2016年8月5日	週末版(総括的検証で問われるべきは「戦術」ではなく「戦略」の妥当性～『失敗の本質』は何か～)
2016年8月4日	イタリア問題Q&A～Italeaveまで至るか否か～
2016年8月3日	今一度確認しておきたい米利上げとドル高の意味
2016年8月2日	欧州銀行に対するストレステスト～残るイタリアへの不安～
2016年8月1日	日銀金融政策決定会合を終えて(7月28～29日開催分)
2016年7月29日	週末版
2016年7月28日	FOMCを終えて(7月26～27日開催分)
2016年7月26日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年6月分)
2016年7月22日	週末版(ECB理事会を終えて～「嵐」の前の静けさ～)
2016年7月21日	日銀金融政策決定会合プレビュー(7月28～29日開催分)
2016年7月20日	明らかにやり始めたBrexitの下押し圧力について
2016年7月19日	「空気を読まない」EU政策当局への危機感
2016年7月15日	週末版(ECB理事会プレビュー～現状維持も「次の一手」は近い～)
2016年7月14日	危う過ぎるヘリマネ議論～円の信認を「叩き壊す」政策～
2016年7月13日	ドル/円相場、急騰の解釈～「木」ではなく「森」を見るべき～
2016年7月11日	米6月雇用統計～いよいよ論観が漂い始めた米利上げ～
2016年7月8日	週末版(円相場の基礎的需給環境について～頭打ちの経常黒字～)
2016年7月7日	FOMC議事要旨～崩れ始めるファイティングポーズ～
2016年7月4日	経験則に学ぶドル/円相場の「波」～簡単には終わらず～
2016年7月1日	週末版(BrexitにEUの責任はないのか?～ユーロ圏を「監獄」にしないために～)
2016年6月27日	Brexit後のリスク要因再点検～トランプリスクとFRB緩和リスク～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年5月分)
2016年6月24日	週末版
2016年6月23日	TLTRO II プレビュー～6月23日、もう1つの論点～
2016年6月21日	英国のEU離脱(Brexit)とユーロ相場見通し
2016年6月20日	英議員殺害で思い返されるアンナ・リンド事件
2016年6月17日	週末版(日銀金融政策決定会合を終えて～「No」と言う勇気と奇襲の「ツケ」～)
2016年6月16日	FOMCを終えて～「利上げの有無」を超えて～
2016年6月15日	英国のEU離脱(Brexit)を巡るQ&A
2016年6月14日	ドル/円相場、水準感の整理～攻守交代の時～
2016年6月10日	週末版(7月以降、ECBは現状維持を貫けるか～戻らないHICPIに苦しめられる公算～)
2016年6月9日	日銀金融政策決定会合プレビュー
2016年6月8日	円相場の基礎的需給環境について
2016年6月7日	イエレンFRB議長講演と米雇用情勢について
2016年6月6日	米5月雇用統計～もはや正常化以前の問題か～
2016年6月3日	週末版(ECB理事会を終えて～2周年を迎えたマイナス金利～)
2016年6月2日	消費増税先送り「悪い円安」論について
2016年6月1日	年内「最後の円安」に備える時か
2016年5月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年4月分)
2016年5月27日	週末版(本日のトピック:ECB理事会プレビュー～目玉政策を控えて現状維持～)
2016年5月26日	投機ポジションにおける「ドル買いの正体」
2016年5月25日	米通貨・金融政策の捻じれ～「ドル高の罠」から抜けられず～
2016年5月23日	仙台G7を終えて～論点変わらず見通しに影響なし～
2016年5月20日	週末版
2016年5月18日	本邦1～3月期GDP～「不都合な結果」とはならず～
2016年5月17日	ECBのバランスシートとユーロ相場の関係などについて
2016年5月16日	消費増税先送り報道と市場への影響などについて
2016年5月13日	週末版(マイナス金利導入から3か月～外的要因に圧倒される状況続く～)
2016年5月12日	円相場の基礎的需給環境について～第1四半期を終えて～
2016年5月11日	伊勢志摩合意に必要なドイツの説得
2016年5月9日	薄れる米雇用統計の影響力～「量」と「質」の捻じれも懸念～
2016年5月6日	週末版(米為替政策報告書と「秩序的(orderly)」について～結局はドル高が辛くなっただけ～)
2016年4月28日	日銀金融政策決定会合～「良い球」を逃した結末は……
	週末版(FOMCを終えて～論点は変わらずドル高懸念～)
2016年4月26日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年3月分)
	「原油価格上昇&円安」をどう考えるべきか?
2016年4月25日	3週間ぶりの111円台を受けて～想定通りの円安～
2016年4月22日	週末版(ECB理事会を終えて～「不都合な真実」を黙殺したドラギ総裁～)
2016年4月21日	日銀金融政策決定会合プレビュー～日銀版TLTRO2か～
2016年4月20日	ECB理事会プレビュー～強まる日本化・円化・日銀化～
2016年4月19日	震災と為替～2011年3月を参考にすべきか?～
2016年4月18日	G20を終えて～追加緩和、「やるなら今」か?～
2016年4月15日	週末版(黒田総裁NY講演を受けて思うこと～「最凶の緩和スキーム」にならないために～)
2016年4月14日	ドル高、金利上昇に脆弱な米経済の現状
2016年4月13日	通貨安競争回避で最も分が悪いユーロ圏(≡ドイツ)